

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 13 日

評価対象事業		評価者	環境施設課長	谷川 克也
環境-10	重点事業	新焼却施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	処理施設の整備及び適正管理を図るため。
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	0	0	当初予算(千円)	0		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	8	0	一般財源	0		
	人員配置数	1.2	0.2	人員配置数	0.0		
	人件費(千円)	9,553	1,649	人件費(千円)	0		
事業経費運営	総事業費(千円)	9,553	1,649	総事業費(千円)	0		
	市民1人当りの経費(円)	54	9	市民1人当りの経費(円)			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1. 減少している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	1. 廃止・休止による影響はない
有 効 性	事業の成果は得られているか	1. 成果は出ておらず、改善が必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	1. 事業の方向性や手法も見直す必要があり、貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input checked="" type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	新たな焼却施設建設を建設せずにゼロ・ウェイトを目指して、ごみの減量・資源化を進める方向に方針転換を行ったことから事業を廃止していく。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・平成30年度に新たな焼却施設建設を建設せずにゼロ・ウェイトを目指して、ごみの減量・資源化を進める方向に方針転換を行ったため、今後は「将来のごみ処理体制についての方針」に基づき施設整備を進めていく。</p>
-------------------	--

<p>令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題 (前年度未解決の事項を含む)</p>	<p>・広域連携及び圏域外の処理において安定的な処理体制を構築するため、新たな焼却施設建設を建設せずにゼロ・ウェイストを目指して、ごみの減量・資源化を進める方向とした新たな方針への移行を進める。 ・鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の策定に向け協議を進める。 ・「将来のごみ処理体制についての方針」に基づき一般廃棄物処理基本計画の改訂を進め、改訂とともに本事業を廃止する。</p>
<p>課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組</p>	<p>・鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の策定に向け協議を進め、鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画(素案)を公表し、市民説明会、パブリックコメントを実施した。</p>
<p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>	<p>・鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画の策定に向け協議を進める。 ・「将来のごみ処理体制についての方針」に基づき一般廃棄物処理基本計画の改訂を進め、改訂とともに本事業を廃止する。</p>

- 解決  
 一部解決  
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

<p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p>								
-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位	指標の傾向		備考			
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

<p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p>								
------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--